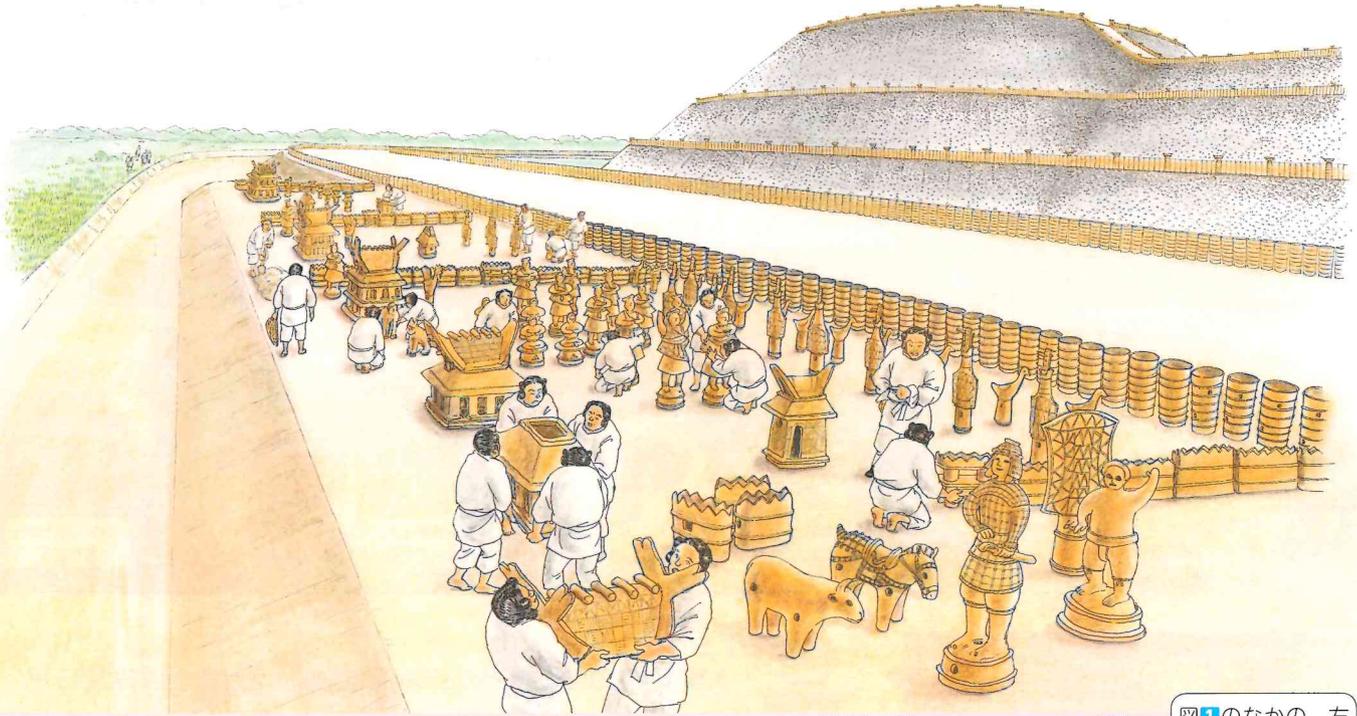




ワークシートなど

2章の問い

国づくりが行われていった古代の社会には、どのような特色があったのだろうか。



●小学校で学んだ人物と主な出来事

↑1 今城塚古墳が完成したころの想像図

図1のなかの、右上にある大きなものは、何というものだったかな。

縄文時代	弥生時代	古墳時代	飛鳥時代	奈良時代	平安時代	
約1万年前 日本列島が大陸から切り離される	紀元前 3世紀 稲作が伝わる	○卑弥呼が倭国の女王となる	5世紀 ヤマト王権が勢力を広げる	593 聖徳太子が摂政となる →3 聖徳太子	752 奈良の大仏が完成する	1016 藤原道長が摂政となる →4 藤原道長



●「学習する時代の見通し」をもとう

…対話…

これから学習する時代について、どのような時代なのか、ほかの人と話し合ってみよう。

その際、小学校で学習した人物や主な出来事を思い出してみよう。

★この時代の日本はどのような社会なのか、

予想を書こう。

この章で学習する節の問い

1節

人類の登場から文明の発生へ

世界各地の文明は、どのように成立し、発展したのだろうか。

p.16~25

2節

東アジアのなかの倭（日本）

日本列島ではどのようにクニができ、勢力を拡大したのだろうか。

p.28~33

3節

中国にならった国家づくり

なぜ、日本の古代国家は、中国にならった国づくりを行ったのだろうか。

p.38~49

4節

展開する天皇・貴族の政治

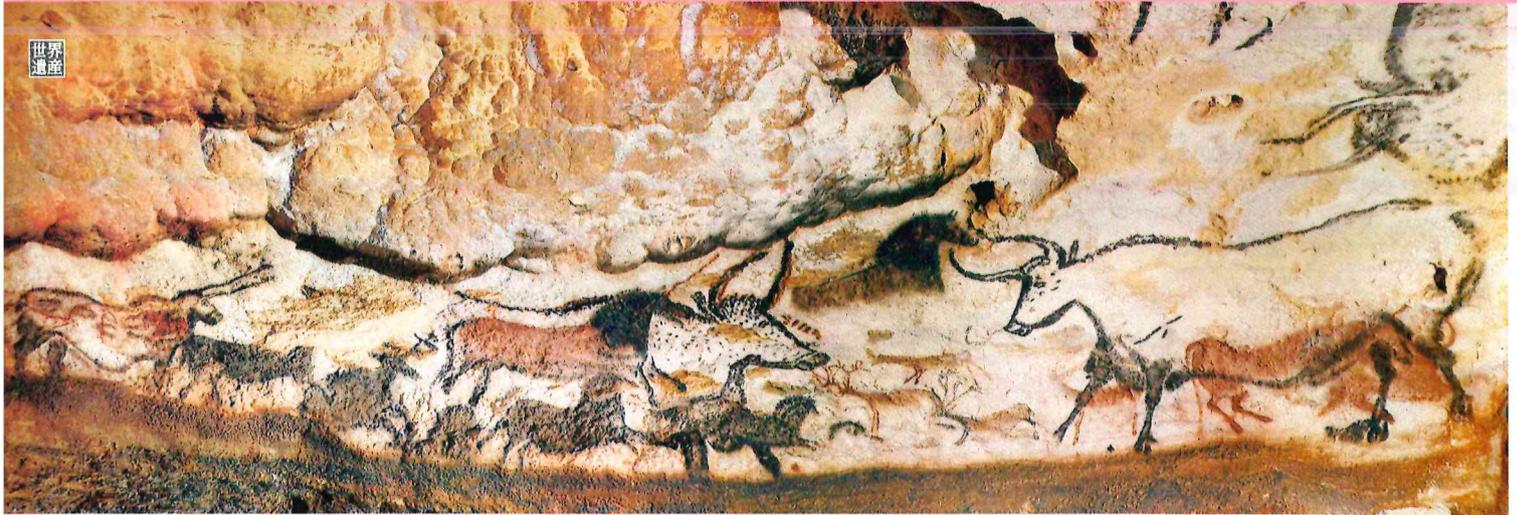
中国の影響を受けた日本の政治と文化は、どのように変化していったのだろうか。

p.54~59



1節の問い 世界各地の文明は、どのように成立し、発展したのだろうか。

世界遺産

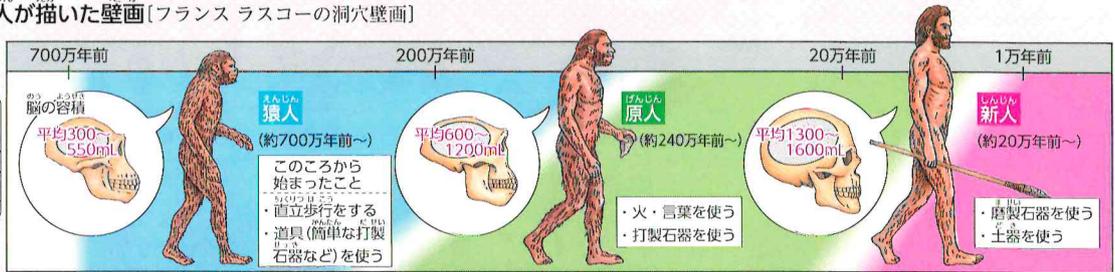


↑1 約1万5000年前に新人が描いた壁画 [フランス ラスコの洞穴壁画]



どのような生活をしていた人が描いたのかな。

→2 人類の進化



1 人類がたどった進化



↑3 打製石器 木を切ったり、やりの先につけて狩猟したり、捕らえた動物の肉を切ったりしたと考えられています。写真の打製石器は、手で握って使用した可能性が高いと考えられています。[金取遺跡出土 岩手県遠野市 遠野市教育委員会蔵] 小地公

① 最も古い時代を古代と区別して、先史時代ということもあります(→p.6)。その時期に使用された道具の材料から、旧石器時代、新石器時代、青銅器時代、鉄器時代と分けられています。



学習課題

人類は進化の過程で、どのように生活を変化させてきたのだろうか。

人類の誕生

人類は猿と共通の祖先から進化しました。人類の祖先が地上を2本の足で立って歩くようになると、脳が発達し、手(前足)を使って、石などを道具として使うようになりました。これが人類の始まりで、約700万年前にアフリカで起こったことと考えられています。この最古の人類を猿人といいます。

環境の変化と人類

地球が誕生したのは、約46億年前といわれています。約260万年前から氷河時代に入り、寒い時期(氷期)と暖かな時期(間氷期)を繰り返しました。人類はこの厳しい時期を生き抜くなかで、暖をとり、狩りや漁、採集によって手に入れた食べ物を加工するため、火を使うようになりました。また仲間どうしで意思を伝え合うため、言葉を発達させました。この時期の人類を原人といいます。さらに、原人は石を打ち砕いてすどい刃をもった打製石器を使い始めました(旧石器時代)。

約20万年前に誕生し、現代人に直接つながる人類は新人とい



- A 2年以上前の全身骨格の化石人骨が見つかったところ(白保芋根田原洞穴遺跡、沖縄県)
- B 動物の骨が見つかったところ(野尻湖、長野県)
- C 初めて打製石器が見つかったところ(岩宿遺跡、群馬県)
- D 約9万年前の打製石器が見つかったところ(金取遺跡、岩手県)
- E 現在の海岸線
- 約2万年前の海岸線
- 約2万年前に陸地であったところ
- 人類の移動(推定)



↓ 野尻湖で見つかった動物の化石 3万年以上前の地層から、オオツノジカの角(左)やナウマンゾウの牙(右)の化石が見つかりました。[長野県野尻湖発掘調査団提供]



↑ 八重瀬町港川で見つかった約2万年前の人骨(東京都国立科学博物館提供)

ます。この新人は長い間、打製石器を使っていました。また洞穴の壁に動物を描くなどの芸術や、死者の手足を折り曲げて副葬品と共に埋葬するといった信仰などの精神活動も豊かになっていきました。

日本列島に住み始めた人々 海面が現在よりも低く、大陸と地続きだった氷期の日本列島に、ナウマンゾウなどの大型動物が移動すると、これらの動物を追って新人がやって来しました。

1946(昭和21)年に岩宿(群馬県)から日本で初めて打製石器が発見されました。金取遺跡(岩手県)では約9万年前と考えられる地層から打製石器が発見され、沖縄県では2万年以上前のものとみられる全身骨格の化石人骨も見つかっています。このことから、旧石器時代には人類が日本列島で生活していたことが分かります。

氷期の終わりと農耕の始まり 約1万年前に最後の氷期が終わり、地球が暖かくなると、寒い気候に適していた大型の動物が減っていきました。従来の狩りや漁、採集だけでは食料が足りなくなった人類は、素早い動物を狩るため弓矢を使うようになりました。また、野生の小動物を飼いならして増やす畜養を行うとともに、よく実のなる野生の植物を栽培する農耕を始めました。このころには、石を磨いてつくった磨製石器や、粘土を焼いた土器が作られるようになりました(新石器時代)。



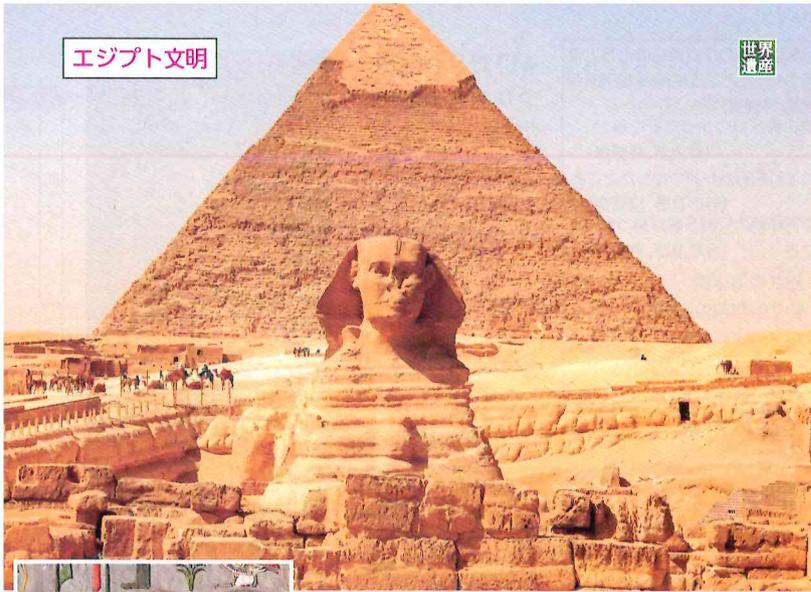
↑ 磨製石器 調理や、樹木の伐採、土掘りの道具、木材や獣皮に穴を開けるドリル、呪術の道具などとしても利用されたと考えられています。[左 北村遺跡出土 長野県 安曇野市 長野県立歴史館蔵] 小地公

② 古い時代の骨や道具、建物の跡などを発掘して研究することを考古学といいます。考古学では遺物の形式や出土した地層、科学的な分析法などにより、出土した遺物の年代を明らかにしていきます。

確認しよう 人類が進化していくなかで、できるようになったことを、本文から三つ以上書き出そう。

説明しよう 旧石器時代と新石器時代で、人類の生活が環境の変化に合わせてどのように変化したか説明しよう。

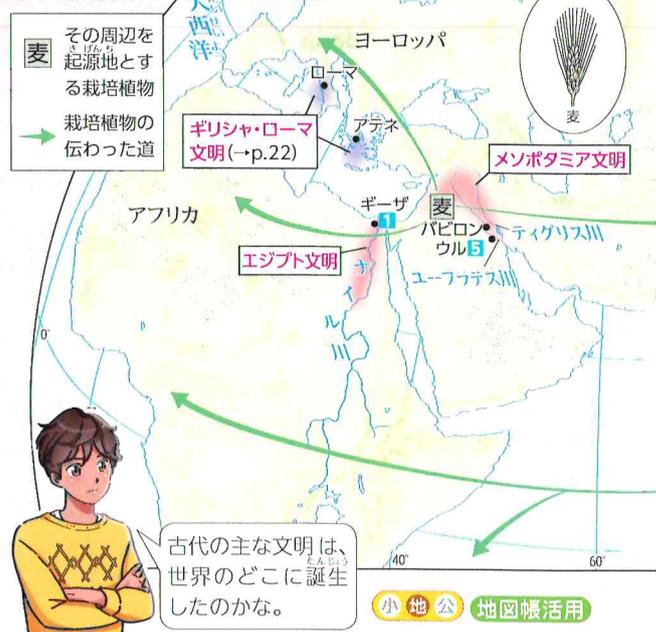
縄文
B/C
1 弥生
2
3
4
5 古墳
6
7 飛鳥
8 奈良
9
10 平安
11
12
13 鎌倉
14 南北朝
室町
15
戦国
16
安土桃山
17
江戸
18
19 明治
大正
20 昭和
平成
21 令和



↑1ギーザのピラミッドとスフィンクス(エジプト)
ギーザには三つのピラミッドがあり、最大のクフ王のものは高さ約137m、底辺(一辺)約230mにもなります。

←2エジプト文明の象形文字(神聖文字)

→3世界各地の文明と栽培植物の伝わった方向



古代の主な文明は、世界のどこに誕生したのかな。

小地公 地図帳活用

2 世界各地で生まれる文明

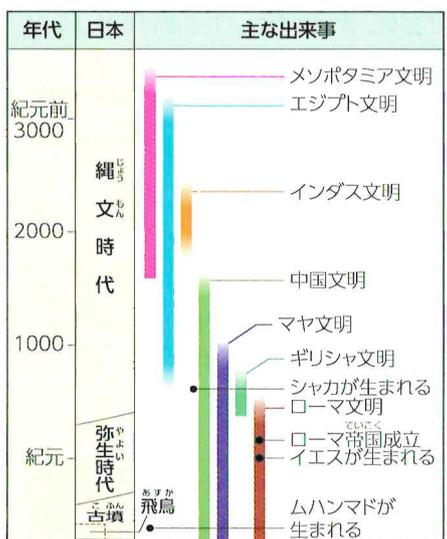
1節の問い 世界各地の文明は、どのように成立し、発展したのだろうか。

学習課題 古代文明はどのような特徴があったのだろうか。

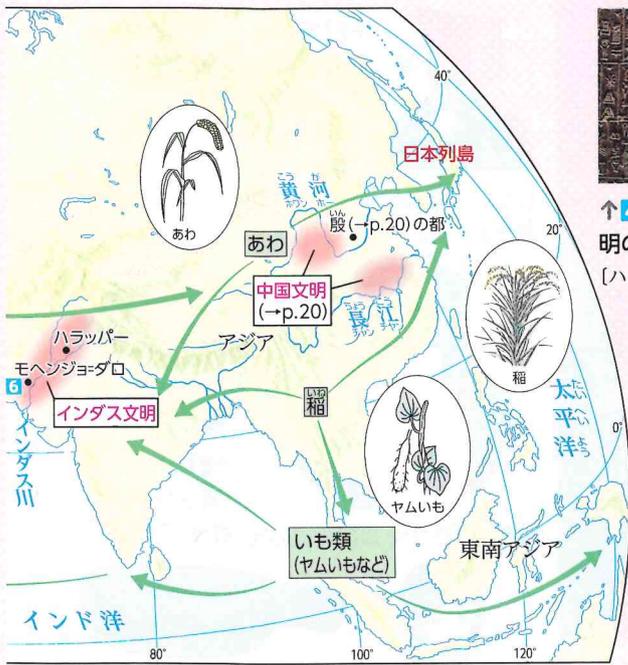
文明が生まれる条件 新石器時代、大河の流域では農耕や牧畜が発達し、食料を蓄え、同じ場所で多くの人口を養うことができるようになりました。やがて、食料を管理し、農耕や戦いの指揮をとる王が現れ、神殿や宮殿などをもつ都市が生まれました。また、祭りや戦いに用いる青銅器がつくられ、記録用に文字も生まれました。こうしたことなどは、メソポタミア文明、エジプト文明、インダス文明、中国文明に共通してみられます。

メソポタミア文明 最も早い文明は、メソポタミアやエジプトなど「オリエント」とよばれる地域に生まれました。ティグリス川とユーフラテス川の流域では、紀元前3500年ごろ、メソポタミア文明が生まれました。神殿を中心に都市が誕生し、政治は王が行いました。メソポタミアでは、青銅器がつくられ、くさび形文字も使われていました。また、月の満ち欠けをもとにした陰暦や、時間を計るために60進法が考え出されました。

紀元前18世紀ごろには、ハンムラビ王がメソポタミア全域を統一しました。ハンムラビ王は大規模な治水工事を行ったほか、ハンムラビ法典をつくって人々を支配しました。



- ↑9世界各地の文明の動き
- ① オリエントとは、ヨーロッパから見て東の「太陽の昇る土地」という意味です。
 - ② そのほかにも、一週間を七日にすることも考え出されました。



↑4 メソポタミア文明のくさび形文字 [ハンムラビ法典]

↑5 メソポタミアの遺跡であるウルのジググラト(聖塔)(復元、イラク) 紀元前2100年ごろに日干しれんがでつくられた人工の聖なる丘で、頂上には月の神をまつる神殿がありました。



↑6 モヘンジョ=ダロ遺跡の沐浴場 (パキスタン)

↑7 インダス文字



↑8 漢字のもとになった甲骨文字

縄文
BC
1 弥生
2
3
4 古墳
5
6
7 飛鳥
8 奈良
9
10 平安
11
12
13 鎌倉
14 南北朝
15 室町
16 戦国
17 安土・松山
18 江戸
19 明治
20 大正
21 昭和
平成
令和

エジプト文明

紀元前3100年ごろ、ナイル川流域にエジプト文明が生まれました。強力な王の権力により、小さな国々を統一して大きな国家が生まれ、王は神の子として人々を支配しました。巨大なピラミッドはその権力の強さを示しています。

また、象形文字の一つである神聖文字が発明されたほか、ナイル川の増水や水が引いた後の種まき、収穫の時期を予測するために、天文学が発達し、1年を365日とする太陽暦がつくり出されました。

インダス文明

紀元前2300年ごろ、インダス川流域にインダス文明が生まれました。モヘンジョ=ダロなどの都市は、計画的に建設され、上下水道や公衆浴場などの公共施設が整っていました。また都市では、青銅器やインダス文字が用いられました。しかし、遺跡からは、王宮や王の墓は発見されておらず、政治の様子はよく分かっていません。

アルファベットの誕生と鉄器

東地中海沿岸地域で交易が盛んになると、象形文字やくさび形文字をもとに、より簡単な文字としてアルファベットの原型が発明されました。紀元前1000年ごろに、鉄器が普及し始めると、農産物の生産はますます増し、各地の王はより強力な軍事力をもつようになりました。

「目には目を、歯には歯を」など、同じ書で復讐することを認めていました。

エジプトは ナイルの賜物 防災

未来に向けて

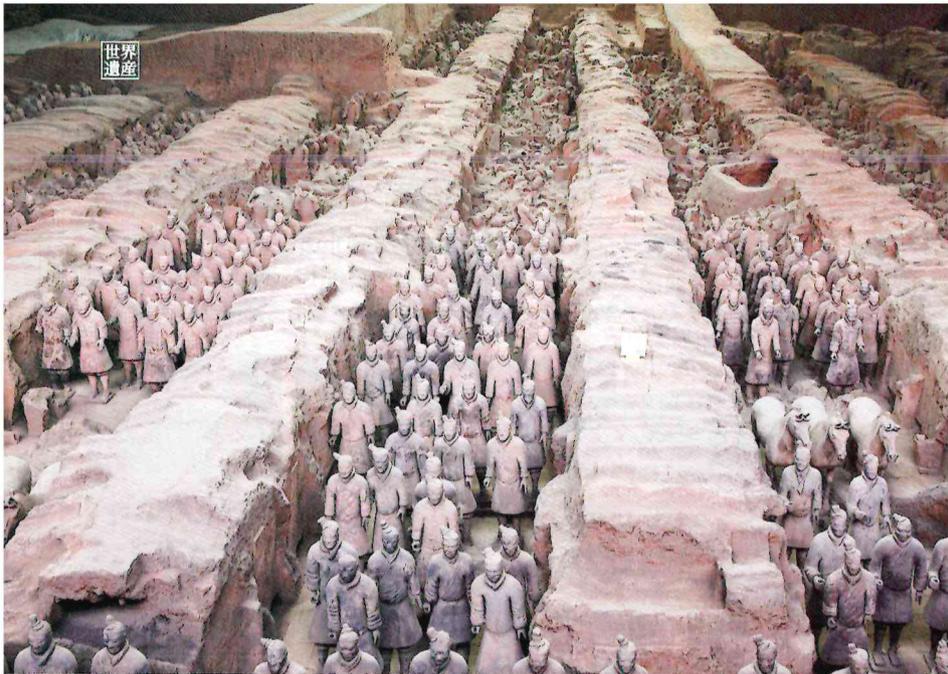
古代エジプトの人々は、ナイル川の観察から、1年を、氾濫が起きやすい洪水期(6月~9月)、土地が現れ種をまく流出期(10月~2月)、作物を収穫する乾燥期(3月~5月)の三つの季節に分けて生活を営んでいました。人々は、氾濫に備え堤防を築き、また、ため池をつくり運河を通じて水を引き、耕地を潤しました(かんがいの工夫、→p.21)。ナイル川の増水を知るための測量計も発明され、ナイル川沿いの各地に設置されました。こうしたナイル川の水と農業の管理のためにリーダーが生まれました。

三つの古代文明が生まれた時期と地域、またその地域で生まれたものを本文からそれぞれ書き出そう。

確認しよう

古代文明が誕生した地域と、各地の古代文明に共通する特徴を説明しよう。

説明しよう



↑1 兵馬俑坑 始皇帝の墓の近くから、等身大の兵士や馬の俑(死者と一緒に埋める人形)が発見されました。



←2 秦の始皇帝(前259~前210) 中央集権の政治のしくみや貨幣の統一、北方の民族の侵入を防ぐための長城の修築などの政策を推し進めました。しかし、秦は中国統一後わずか15年で滅びました。



↑3 貨幣(寸大、直径約3.5cm) 直径27.0cm)



↑4 おもり (高さ18.5cm、



↑5 升(高さ7.0cm、長さ20.8cm)

始皇帝はなぜ貨幣や物差しを統一したのかな。

3

東アジアの文明の広がり

1節の問い 世界各地の文明は、どのように成立し、発展したのだろうか。

→6 殷の時代の青銅器

青銅器は貴重品だったため、それを使用できるのは王や身分の高い一部の人々に限られており、所有することが地位や権力の証でした。



(全高約59cm)

孔子

前551?~前479

思いやりの心に基づく国づくり



紀元前6世紀ごろ、乱れた政治や社会を立て直す方法を説く、多くの思想家が現れました。なかでも孔子は、思いやりの心(仁)で行いを正し、日常生活や政治に取り組むことにより、国はよく治まると説きました。この教えを儒教といいます。儒教は『論語』などの書物を通して、朝鮮や日本にも伝わり、大きな影響を与えました。



学習課題

古代の中国は、どのように国を治めていったのだろうか。

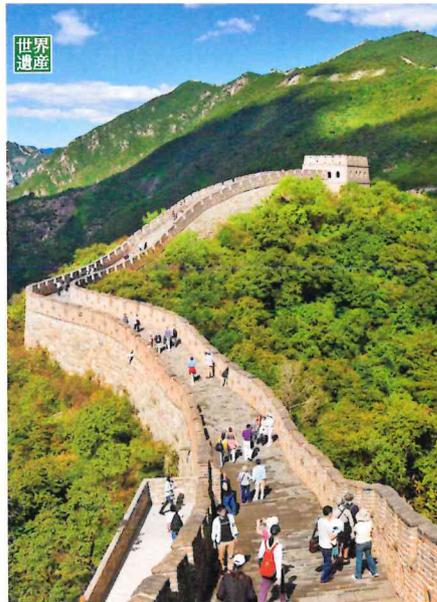
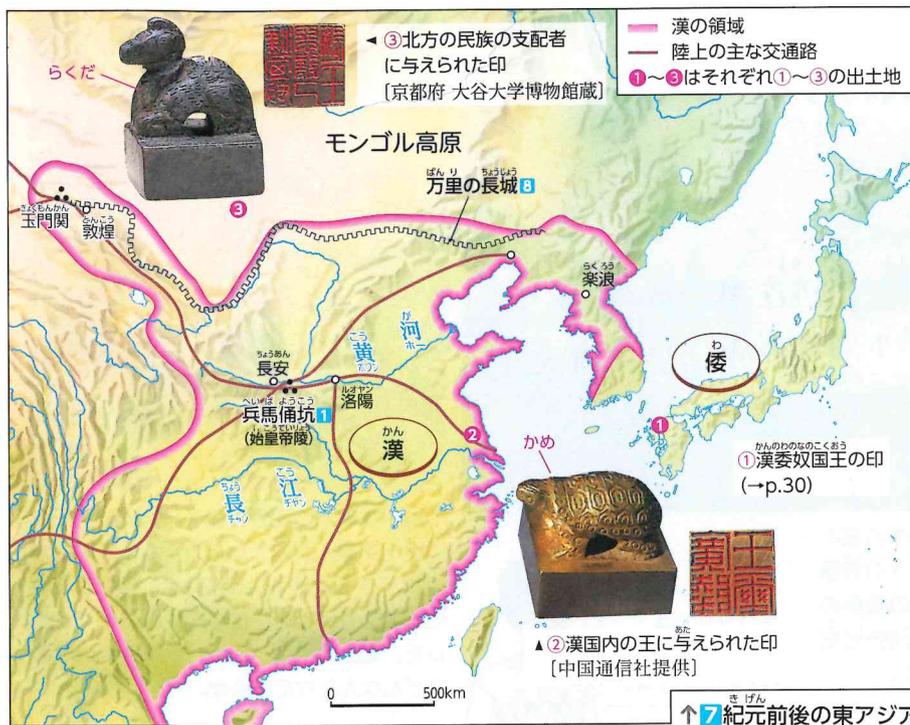
中国文明

中国北部の黄河流域には、農耕に適した土(黄土)が広がっており、人々はあわやきびなどの作物を栽培していました。同じころ、長江流域でも、気候に適した稲作が始まりました。作物の収穫が安定し、人口が増えると、二つの川の流域にはいくつもの都市がつくられ、中国文明が生まれました。

紀元前1600年ごろには、黄河流域の都市を統合して殷(商)という国が栄えました。王は、占いによる政治や祭りを行い、奴隷や農民を支配しました。祭りでは独特の形をした青銅器に酒や作物が入れられ、神に供えられました。また、戦争や農業などを占った結果は、亀の甲や牛の骨に、甲骨文字で記録されました。

統一された中国

黄河流域に栄えた殷は、紀元前1100年ごろ周に滅ぼされました。その後も、紀元前8世紀ごろには衰え、いくつもの国が互いに争うようになりました。この戦乱の時代を、春秋戦国時代といいます。各地の王は、みずからの国を豊かにして戦いに勝ち抜くために有能な人材を集めたので、孔子などの優れた思想家が現れました。紀元前4世紀ごろになると、青銅よりも硬くて丈夫な鉄製の農具が使われるようになり、耕地が広がりま



↑8万里の長城 現在の長城は、明の時代(→p.86)に改修されたものです。秦の始皇帝は、戦国時代の国々が部分的に築いたものを修理し連結させました。

解説 朝貢

中国は周辺諸国に対して、皇帝の家臣になるよう求めました。周辺諸国はその意思を示すために、中国に対して使者を派遣し、みつぎものを渡して忠誠を誓いました。これを朝貢といいます。

- ① 田畑に水を引き、土地を人工的に潤すことです(→p.19)。
- ② 周辺諸国の側から見ると、漢から印をもらうことは、自分の国が漢によって正式に認められたことを意味しました。
- ③ この交易路を通じて中国産の絹がローマへ運ばれたために、後に絹の道、シルクロードとよばれるようになりました。中国には、ローマから宝石やガラス器、中央アジアから良馬が運ばれ、インドから仏教が伝わりました(→p.24)。

確認しよう
秦と漢ではどのような政治が行われたか、本文からそれぞれ書き出そう。

説明しよう
秦や漢が大きな領土を治めるために行った政治のしくみを説明しよう。

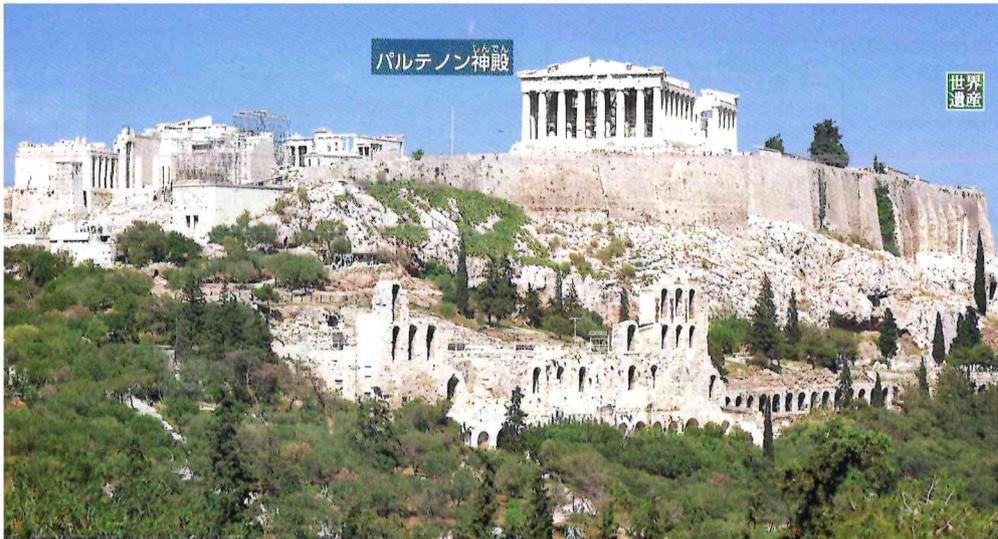
した。また、治水やかんがいの技術が進歩したため、農業の生産が高まり、それに伴い商業も発達しました。

紀元前3世紀に、中国を統一した秦の始皇帝は、各地で異なっていた貨幣や文字、物差しやはかりなどを統一し、これまでの「王」をはるかに超える力を示すために「皇帝」の呼び名を使い始めました。そして、法を重んじ、役人を通じて皇帝の命令が全国に行き渡る政治のしくみを整えました。また、北方の遊牧民の侵入を防ぐために各地の長城を修築させました(万里の長城)。

秦に続いた漢は、孔子の教え(儒教)を取り入れた政治を行い、領土を拡大していきました。紀元前2世紀終わりには、黄河上流と西域を結ぶ拠点として敦煌郡を、朝鮮半島の支配のために楽浪郡を置きました。また、南方ではベトナム北部まで支配下に収めました。大帝國を築いた漢は周辺諸国の王に印を与えるなどして統治を認め、周辺諸国は中国皇帝の家臣の立場となって国交を結びました(朝貢)。

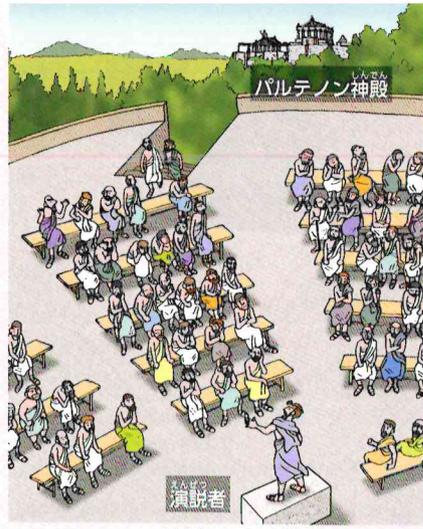
約400年続いた漢の時代には、紙が発明され、歴史書が書かれました。工芸も発達し、絹織物などが数多くつくられました。西方との陸の交通路も整備され(シルクロード)、さまざまな人や物が行き来し、文化や思想の交流も盛んになりました。1世紀後半には、シルクロードや海の道を利用してローマ帝国とも交流しました。

細文
BC
AD 1
2
3
4
5 古墳
6
7 飛鳥
8 奈良
9
10 平安
11
12
13 鎌倉
14 南北朝
室町
15
16 戦国
17 安土・織田
18 江戸
19 明治
大正
20 昭和
21 平成
令和



パルテノン神殿

世界遺産



パルテノン神殿

演説者

↑1パルテノン神殿(ギリシャ アテネ) ポリスの中心部の丘(アクロポリス)の上に建てられた神殿で、ポリスの守護神・アテナ女神をまつています。ペルシャとの戦争の時、ペルシャ軍によって破壊されましたが、紀元前5世紀後半、民主政治が最も盛んな時期に再建されました。

ギリシャではどのような政治が行われたのかな。



↑2ギリシャの民会の様子(想像図) 民会に参加する人が増えたため、6千人以上が参加できる民会場を丘の上につくりました。参加者は、自由に提案や議論ができました。**資料活用** 民会に参加しているのはどんな人たちだろうか。 **小地公**

4 ギリシャとローマの政治と文明

1節の問い 世界各地の文明は、どのように成立し、発展したのだろうか。



←3戦いに参加する人々

歴史プラス+ 法に従って毒を飲んだ
ソクラテス

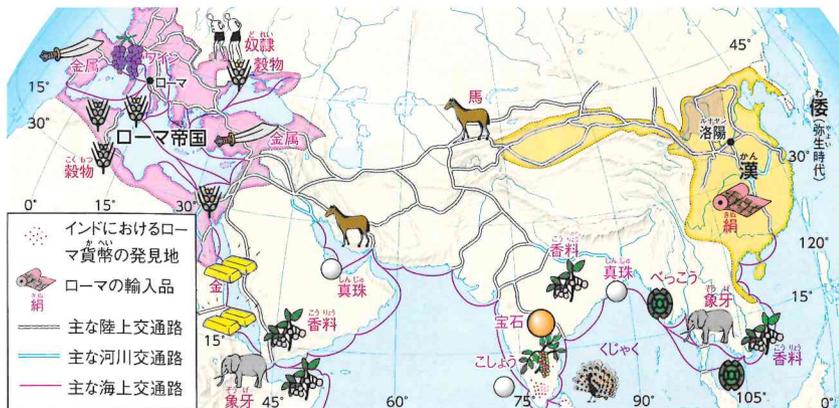
ソクラテスは、紀元前5世紀終わりのアテネで活躍した哲学者です。アテネは、民主政が最も盛んな時期から衰えていく変化のなかにあり、民会では党派の対立が激しく、法がゆがめられることも多くありました。そうしたなかで、ソクラテスに議論でやり込められた政治家たちは、彼を裁判所に訴えました。裁判によって死刑が決まったソクラテスは、悪法と知りつつも法に従ってみずから毒を飲みました。

→4ソクラテス

学習課題 古代のギリシャ、ローマではどのような政治が行われたのだろうか。

ギリシャの民主政 ギリシャは、山が多く土地が狭い上、特に夏の降水量が少なかったため、食料となる穀物が不足がちでした。そこでは王による広い領域の支配は成り立たず、小規模な土地と人口での生活と防衛に適した国の形として、紀元前8世紀ごろから多くの都市国家(ポリス)が生まれました。ギリシャでは、成人男子の市民がポリスを防衛する戦闘の義務を果たすことで、政治に参加する権利を得ました。なかでもアテネでは、王に率いられた大帝国ペルシャとの戦争に勝利したあと、紀元前5世紀に、すべての成人男子の市民が出席する民会を中心とした**民主政**が行われました。古代ギリシャの民主政は、市民による政治という意味で現代の民主政治の起源としてみることができますが、ギリシャ人でも女性やほかのポリス出身者は民会に参加する権利が認められませんでした。また、奴隷の労働に支えられた民主政でもありました。

ギリシャでは、民主政の発達により、人間の生き方や政治のあり方について考える哲学が生まれました。また、ポリスでの生活と結びついた、人間の感情をよく表した神話や演劇がつけられました。理想の人間像を追究した文化は、後世に大きな影響を与えました。

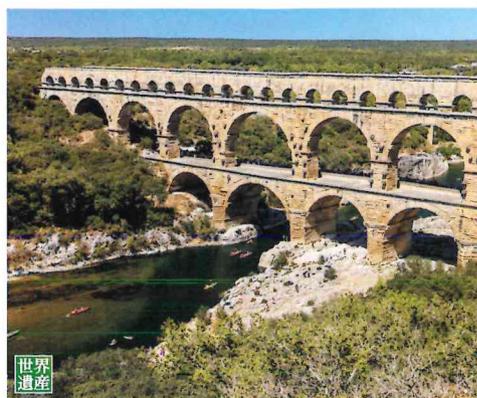


↑5 東西の大国と交易のつながり 1~2世紀にローマ帝国は最盛期を迎えます。このころ西アジア、北インド、南インド、東南アジアでも発展した国が現れており、ローマ帝国は、シルクロードや海の道によりこれらの国々を経て中国の後漢と結び東西交易を盛んに行いました。ローマ貨幣の発見は、海のルートを利用したローマ帝国やインド、東南アジアとの活発な交易のしるしです。

→6 **インド南部から出土したローマ帝国の貨幣**



←7 **東南アジアの港湾都市で発見されたローマ帝国の貨幣**



↑8 古代ローマの水道橋(フランス) 大都市ローマで必要とされる飲料水や入浴用の水を確保するために多くの水道を建設し、遠くから水を引いてきました。水道の建設では、傾斜を利用して水を流す高度な技術が用いられました。

ローマの政治

イタリア半島の都市国家から出発したローマでは、紀元前5世紀ごろには貴族と平民の身分の下、政治の実権を貴族が独占していました。しかし、イタリア半島の統一を目指した戦いのなかで、戦力の中心を平民が担うようになると、平民は政治に参加する権利を求めて貴族と争うようになりました。その結果、法律上ですべての官職が平民にも開放され、紀元前3世紀初めには、平民と貴族との間で、政治の権利は平等になりました。これにより、古代ローマの共和政が完成しました。しかし、実際の政治では貴族の力がなお強く、官職に就くことができた平民は、豊かな財産をもつ一部の者に限られました。またローマでも、農業を中心とする労働を担ったのは奴隷でした。

ローマはその後も領土拡大のための戦争を続け、紀元前1世紀の終わりには地中海沿岸のほぼ全域を支配しました。このころにローマの政治は、共和政から強い軍勢力と指導力をもった皇帝が治める政治(帝政)に移り変わりました。ローマは交易を活発に行い、帝国内の結びつきを強めました。また、法律を整え、道路や水道をつくり、アルファベットをもとにしたラテン文字(ローマ字)を広めて、実用的な文化を発展させました。そうして広い領土と多くの民族を支配し、以後約200年、ローマ帝国は安定しました。

歴史プラス+ どれいせい 奴隷制の上に成り立った市民生活

古代のギリシャ、ローマで、市民が政治・軍事や文化の活動に励むことができたのは、奴隷が市民の生活に必要な労働を担っていたからでした。もちろん奴隷に政治に参加する権利はありません。古代ギリシャで学問を究めたアリストテレスの下記の言葉にもあるように、当時の市民は、奴隷を生きた道具と考え、そのことに疑問をもつことはありませんでした。

アリストテレスの考えた奴隷制

道具には、生命のない道具と、生命のある道具がある。

[アリストテレス「政治学」より、一部要約・抜粋]

① オリентで発明された文字(→p.19)をもとにギリシャでアルファベットが生まれ、ローマに伝わりました。



確認しよう

古代ギリシャや紀元前3世紀ごろのローマでは、どのような政治が行われたか、本文からそれぞれ書き出そう。



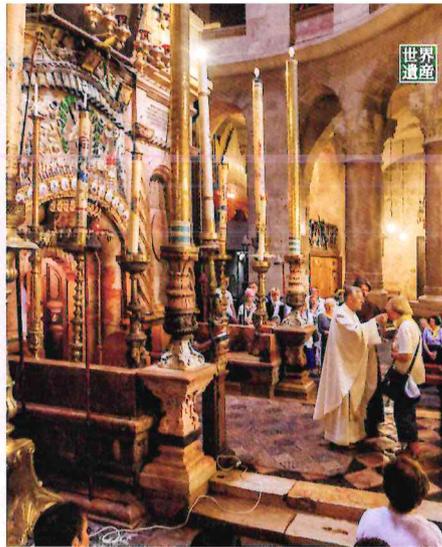
説明しよう

古代ギリシャや紀元前3世紀ごろのローマの政治制度について、現代の民主政治につながる点と異なる点を説明しよう。

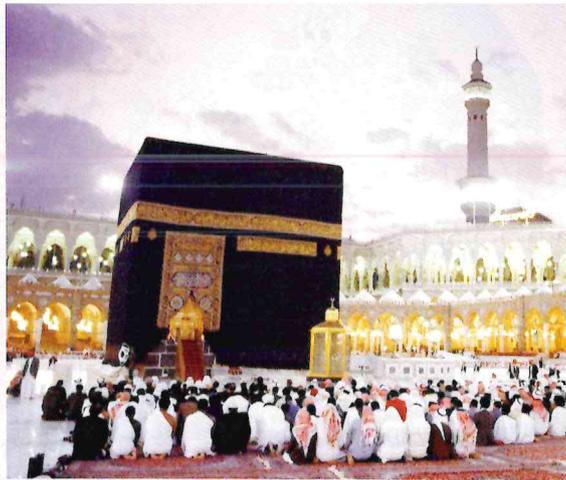
縄文
BC
AD 1 弥生
2
3
4
5 古墳
6
7 飛鳥
8 奈良
9
10 平安
11
12
13 鎌倉
14 南北朝
15 室町
16 戦国
17 安土・桃山
18 江戸
19 明治
大正
20 昭和
21 平成
令和



世界遺産



世界遺産



↑3メッカのカーバ神殿(サウジアラビア)

小地公

↑1シャカが悟りを開いたブッダガヤにある大菩提寺(インド) 小地公
↑2イエスの墓といわれる場所に建つ教会(エルサレム) 小地公

これらは、その宗教の人々にとって、どのような場所なのかな。



5

仏教・キリスト教・イスラム教の誕生

1節の問い 世界各地の文明は、どのように成立し、発展したのだろうか。



学習課題

仏教・キリスト教・イスラム教の教えには、それぞれどのような特色があるのだろうか。

宗教のおこり

仏教・キリスト教・イスラム教は、現在でも世界的な規模で信仰されています。

文明や国家が誕生し、各地に広がると、異なる習慣や考え方をもった多くの民族が共に暮らすようになりました。そのなかで差別や貧富の差が広がると、生活の苦しみや不安を抱えた人々は、それを乗り越え、正しく生きるための心の支えを求めて宗教を信仰しました。一方、国家の支配者は、自分の地位や政治を安定させるために、多くの人々が信仰する宗教を保護し、時には弾圧しました。

仏教

インドではインダス文明が衰えると、紀元前1500年ごろ、西北からアーリア人が侵入してきました。彼らは先住民を征服し、神官(バラモン)を最高位として先住民は下層におくような身分のある国々をつくりました。そのようななか、紀元前6世紀ごろ、シャカが生まれによる差別を批判し、苦悩を乗り越える道を説きました(仏教)。仏教は、人は皆平等で、悟りを開いて(ブッダ)となれば、誰でも苦しみから救われると説いています。

インドでは紀元前3世紀ごろから紀元7世紀ごろまで、国家の保護の下で仏教が栄えました。その後、民衆の日常生活や祭式と結びついたヒンドゥー教が盛んになりましたが、仏教はシルクロードを通して中国に伝えられ、やがて朝鮮や日本にも広まりました。

p.38

シャカ

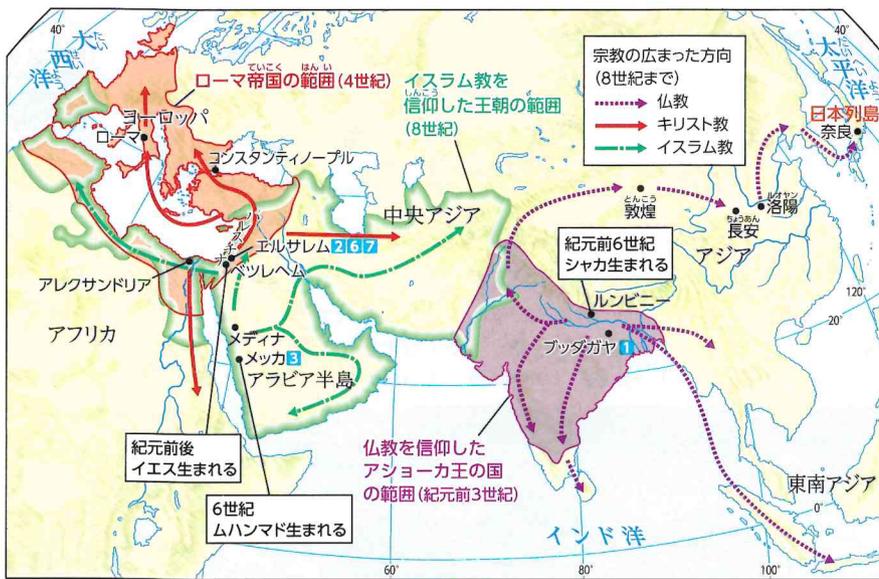
前563ごろ～前483ごろ

王族から修行者へ

ルンビニー(現在のネパール)にシャカ族の王子として生まれました。16歳で結婚し、不自由のない生活を送りますが、一方で苦しむ人々がいる現実(悩み)、29歳のときに城を出て出家しました。修行のあり方を問い直した末、35歳のとき、ブッダガヤの菩提樹の下で悟りを開き仏となりました。その後、布教の旅を続け、80歳で亡くなりました。



→4修行するシャカ [2世紀 パキスタンラホール博物館蔵]



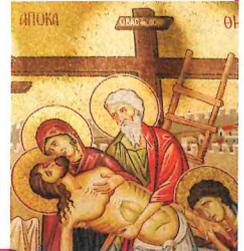
↑5 宗教の誕生と広まり 地図帳活用 小地公

イエス

前4ごろ～後30ごろ

十字架に架けられた救世主

30歳のころユダヤ教の洗礼を受け、修行や布教活動を行いました。ユダヤ教の指導者やローマ帝国からうとまれ、十字架に架けられ処刑されました。その後、信者たちの間に、イエスの復活と彼がキリスト(救世主)として人類の罪をつぐなつたとの信仰が、急速に広がりました。



→6 十字架から降ろされるキリスト [エルサレム聖墳墓教会蔵]

キリスト教

パレスチナでは、神との約束を守る自分たちだけが救われると説くユダヤ教が、古くから信仰されてきました。紀元前後のころ、ローマ帝国に支配されていたパレスチナにイエスが現れると、イエスは形式にこだわるユダヤ教の指導者を批判し、神の前では皆平等であり、神を信じる者は誰でも救われると説きました。その弟子たちは、初めローマ帝国に迫害されますが、教会組織や『新約聖書』を整えて、布教を進めました(キリスト教)。その結果、4世紀末には、キリスト教はローマ帝国の国教となりました。間もなくローマ帝国は東西に分裂しましたが、その後もキリスト教は、ヨーロッパの人々の精神的な支えとして発展していきました。

イスラム教

6世紀のアラビア半島では、アラブ人の都市が貿易で栄える一方、貧富の差が拡大していました。そのようなとき、メッカに現れたムハンマドは、ただ一つの神を信じるユダヤ教・キリスト教の影響を受けて、唯一神(アッラー)の教えを伝え、神の前では人々は平等であると説きました(イスラム教)。

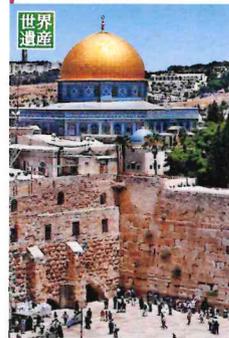
イスラム教は、アラビア半島を中心に、周囲の地域に急速に広がりました。イスラム教を信仰した王朝は、8世紀後半までには、中央アジアから北アフリカにかけてを征服しており、その領内ではアラブ人とそれ以外のイスラム教徒との間の平等を推進したので、イスラム教は各地の社会に深く根づきました。

ムハンマド

570ごろ～632

アッラーのお告げを受けた預言者

隊商が集まる交易の町であるメッカの名家に生まれ、40歳のころ、アッラーのお告げを受けました。メッカの大商人たちから激しい迫害を受けると、メディナに移住して、お告げに基づく社会をつくり、指導者となってメッカを征服しました。ムハンマドは、神をかたどった像を拜むことに反対し、メッカに向けて礼拝することなどを説き、それらを含めた神からのお告げは『コーラン』にまとめられました。



↑7 ムハンマドが昇天したといわれる岩のドーム(エルサレム) 手前はユダヤ教の聖地である「嘆きの壁」です。

☑ 三つの宗教が誕生した地域と広がり、本文から書き出そう。

💬 三つの宗教が誕生する背景として、共通することは何か説明しよう。

縄文
BC
AD
1 弥生
2
3
4
5 古墳
6
7 飛鳥
8 奈良
9
10 平
11 安
12
13 鎌倉
14 南北朝
15 室町
16 戦国
17 安土
18 江戸
19 明治
20 大正
21 昭和
平成
令和